

「食品ロスを楽しく学ぼう～食品ロスダイアリー講座～」

- 実施日時 令和3年1月31日（日）
15時00分～16時00分
- 実施方法 Zoomを使用したオンライン開催
- 受講者数 定員：親子15組、小学校教員10名（先着）
受講申込者：親子30組（子41名）、教員4名
当日参加：親子19組（子23名）、教員1名



□実施内容

1 講義「食品ロスってなんだろう？」

（講師）神戸大学名誉教授 石川 雅紀 先生

NPO 法人ごみじゃぱん代表理事

- 食品ロスは、食べられるのに捨ててしまうこと。
- 家で捨てられるのは、1年間に284万トン。1年間に1人当たり23kg位、1日1人当たり63g位。
- 捨てるとどんな悪いことになるの？⇒ごみが増える。ごみが増えると、ごみを集めて燃やすためにお金がかかる。
- 捨てないようにしたら？⇒食べ物の無駄がなくなる、ごみを集めて燃やすお金を他のことに使える、灰を埋める場所を長持ちさせられる、食べ物に困っている人に分けてあげられる。



（石川先生による講義）

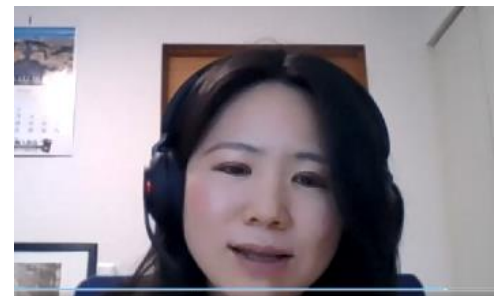
2 講義「記録すれば減る。『食品ロスダイアリー』」

（講師）京都経済短期大学准教授 兼

神戸大学大学院経済学研究科 小島 理沙 先生

NPO 法人ごみじゃぱん

- 家の食品ロスの原因：食べ残し、食べずに捨てる、料理せずに捨てる。
- 食品ロスダイアリーは、食品ロスを減らす方法の一つ。
- 「食品ロスダイアリー」は、いつ、何を、どれだけ捨ててしまったかを記録しておくノートやアプリ。
- ウェブアプリの長所：自分の記録がすぐにわかる、スマホやパソコンで簡単入力、捨ててしまった分の金額も分かる、他の人と比較できる。
- 食品ロスダイアリーをつけた世帯では、重量で見ると、1世帯あたり1か月から3か月目にかけて30%程度の減少効果。
- 記録をつけると、「あ、へらさない！」と思えるようになる。自分のことを振り返りながら、自分だったらどうしようかなと考えてみよう。



（小島先生による説明）

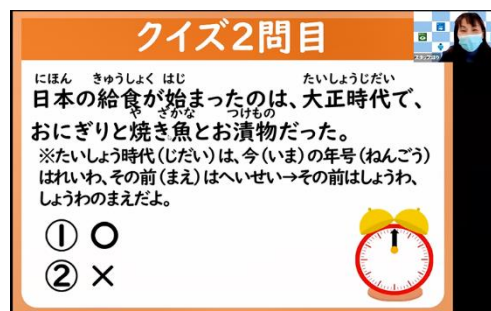
3 食品ロスの先生に質問してみよう！

- 参加者から、「どうしてごみの先生になろうと思ったのですか？」、「先生が気を付けていることは何ですか？」という質問が出ました。気を付けていることとして、石川先生は、「チョコレートなどの個包装をそのまま捨てると、かさばって運ぶのが大変なので、細く巻いてしばって小さくしている」、小島先生は、「買い物の時にごみになる部分が少ないものを選んで買っている」、とのことでした。

4 クイズで学ぼう食品ロス

(講師) 東京都環境公社 総務部 経営企画課 堀 雅美

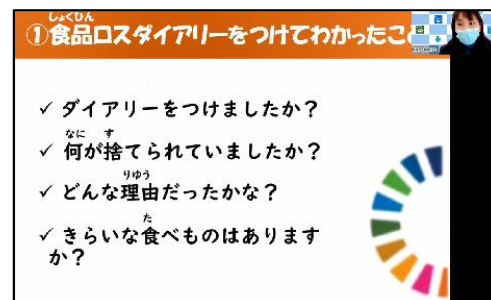
- 自然界(野生生物の世界)にも食品ロスがあるか？日本の最初の給食は？などのクイズを出題し、アンケート機能で参加者に回答していただきました。



(食品ロスクイズ)

5 グループで話し合おう

- Zoomのブレイクアウトルーム機能を使用し、8グループに分かれて、「食品ロスダイアリーをつけてわかったこと」「1年後の自分へのインタビュー」について話し合いました。各グループに一名ずつスタッフが参加し進行了しました。
- 話し合いで出た感想：「必要な量だけ買うことが大切だと思った」「食品がたくさん捨てられている」「埋立地があと少なくていっぱいになってしまう」「これから食品ロスを考えることが大事だと思った」など。



(グループで話し合い)

6 まとめ

- 食品ロスをなくしていくには？⇒食品ロスダイアリーを記録しよう、必要な分だけ買って、買ったものをすべて食べきろう、自分が食べきれぬ量を知ろう。

講義終了後も質問があるお子様に残ってもらい、先生方にご回答いただきました。

石川先生と小島先生の講義については、動画配信を予定しています。

(参考)「食品ロス」「使い捨てプラスチック削減」について学べる動画のURL

- 小学校高学年向け：理解度ドリル付き かんきょう学習の時間
1時間目 食品ロスをへらそう <https://youtu.be/Z8uapsqd1to>
2時間目 使い捨てプラスチックをへらそう <https://youtu.be/OqWw3BUVhMY>
- 中高生以上向け：
米倉れいあのもったいない劇場 ～食品ロス～ https://youtu.be/aD_6pic_a4
米倉れいあのもったいない劇場 ～使い捨てプラスチック～ <https://youtu.be/xYWTW01odc>